

福井県下で

新聞折り込みをします

今、「もんじゅ」改造工事入りの判断が厳しい状況に置かれています。改造工事入りを許さないため、「福井県議への特大ハガキ行動」や「チラシの新聞折り込み」を10月から11月にかけて予定しています。みなさんのご協力をお願いいたします。2つのことをおこなうのに予算が不足しています。いつもいつものお願いで恐縮ですが事態打開のためのカンパのご協力も合わせてお願いいたします。

今年1月のもんじゅ高裁無効判決以降、国や核燃料サイクル機構は裁判批判キャンペーンやもんじゅの運転再開のための改造工事入りに向けての福井県や県民に対する猛烈な攻勢をかけてきています。それを受けて、福井県の設置した「もんじゅ安全性調査検討専門委員会」が9月26日に報告書を出しました。

「改造工事をおこなった『もんじゅ』は、工学的に十分な安全性を持つ設備であると判断する。」との結論です。これにはいいわけ

若狭ネット 三方 石地 優がついています。「『工学的に安全性を持つ』とは、周辺環境に深刻な影響を与える可能性を与えなくても良いということであり、今後全く異常や事故が起こらないということではない」というものです。

検討委員会は、福井県の誰もが認めていない改造工事入りを前提にして結論を出しているのです。そして、厚顔無恥にも「事故は起きるけどもんじゅは安全」と言っています。どう思われますか。

敦賀市長は年内に改造工事入りの判断をすると言っています。9月県議会では改造工事の是非判断が何人もの議員から質問が出ました。が、結論は先送りです。次の12月県議会が焦点になります。そんなこんなで改造工事をさせないように頑張りたいと思います。重ねてみなさんのご支援ご協力宜しくお願いいたします。

追記： 国の上告受理申し立て理由書に対し、10月23日上告理由に反論する答弁書が最高裁に提出されます。

新聞折り込みと特大ハガキ行動にカンパを

- ・ 同封の新聞折り込みチラシを来週4万3千枚折り込みます。これに25万円が必要です。
 - ・ 12月県議会に向けて特大ハガキ行動をおこないます。これに当面10万円が必要です。合計35万円かかります。あなたのカンパだけがたよりです。1口500円で 何口でも よろしく申し上げます。
- 振込口座 00940- 2- 100687 若狭ネット (大阪の口座です。)
00730- 5- 29322 若狭ネット (福井の口座です)

県議へのハガキ運動の提案

「もんじゅ」改造工事を認めないで！

若狭ネット 福井 山崎 隆敏

9月26日にアイリーンさんなど関西の人たちと一緒に、「もんじゅ」改造工事を認めないでほしいという要望書を福井県議会へ届けました。議員一人一人に手渡すつもりでしたが、直接受け取り話も聞いてくれたのは公明党・県民連合・共産党の議員だけでした。議員の大部分を占める自民党の県議は、面接に応じた二人を除き、事務局に一括して渡すというすごい対応でした。自民党の控え室の前で、私たちはしばし立ちつくしていました。

自民党県議に、高裁判決の画期的意義を伝えたいというアイリーンさんの熱意に打たれて、県議へ葉書を送る運動を県内の人たちに呼びかける約束をしました。

そもそも、議員は、判決の意義について考えたことも無いだろう。裁判に関する解説など書き送っても読まないだろう。しかし、特大ハガキに大文字でポイントだけ書いて送れば、頭の片隅に残るかもしれない。家族も読むだろう。感受性の強い年頃の子どもや環境問題に敏感な奥方が読んで議員のお父さんを叱咤するかもしれない、そんなことを期待してのことです。

選挙区の住民の声には耳を傾けるのが議員の生態なので、鯖江の議員には鯖江市民が、武生の議員には武生市民が、たくさん葉書を出せるとよいのです。個人でも、できれば環境グループ等の人たちが連名で出せばいっそう効果的だと思います。

それで、10月18日(土)に、アイリーンさんを囲んで、打ち合わせ会をします。

県議会で議論が始まるのが11月。それまでにハガキ作戦を2～3度考えています。

初回の文案は、次の通りです。

- ・ 県議会議員のみなさん。子どもや私たち県民の生命を守ってください。
- ・ 最高裁の判決が出るまでは、改造工事など運転再開の準備を認めないで下さい。
- ・ 高裁の判決は「もんじゅ」の安全性は保証できないと断定しました。
- ・ 判決は、安全審査に重大な落ち度があるので、改造工事などをしても無意味、

としています。

きれいな和紙の特大ハガキに印刷し、署名をして投函します。自分の思いを書きたい人には、その欄もあります。ハガキの文面などをチラシ印刷して新聞折り込みもおこないます。

